



2020年4月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年12月11日

上場会社名 神島化学工業株式会社
 コード番号 4026 URL <http://www.konoshima.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 小田島 晴夫

TEL 06-6110-1133

四半期報告書提出予定日 2019年12月11日

配当支払開始予定日

2020年1月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年4月期第2四半期の業績(2019年5月1日～2019年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第2四半期	10,674	3.9	500	49.3	474	53.4	370	76.9
2019年4月期第2四半期	11,103	4.0	334	37.5	309	38.2	209	5.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第2四半期	40.51	40.39
2019年4月期第2四半期	22.90	22.89

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年4月期第2四半期	20,062	7,438	36.9
2019年4月期	19,611	7,159	36.4

(参考)自己資本 2020年4月期第2四半期 7,403百万円 2019年4月期 7,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期		10.00		10.00	20.00
2020年4月期		10.00			
2020年4月期(予想)				10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年4月期の業績予想(2019年5月1日～2020年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,700	2.2	1,060	11.8	1,000	8.9	700	5.9	76.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年4月期2Q	9,240,000 株	2019年4月期	9,240,000 株
期末自己株式数	2020年4月期2Q	86,559 株	2019年4月期	86,361 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年4月期2Q	9,153,548 株	2019年4月期2Q	9,153,622 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響が懸念されるなか、個人消費の持ち直しや雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな景気回復傾向が続いてまいりました。

当社建材事業の主要マーケットである住宅市場においては、新設住宅着工戸数は、持家や分譲戸建が増加したものの、貸家やマンションが減少し、全体ではマイナスとなりました。

当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は10,674百万円と前年同四半期比429百万円(3.9%)の減収となりましたが、営業利益は500百万円と前年同四半期比165百万円(49.3%)の増益、経常利益は474百万円と同165百万円(53.4%)の増益、四半期純利益は370百万円と同161百万円(76.9%)の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 建材事業

建材事業におきましては、引き続き高級軒天ボードは好調であったが、採算性重視の施策により一部製品の販売が減少したことなどから、売上高は6,969百万円と前年同四半期比610百万円(8.0%)の減収となりました。しかし、セグメント利益(営業利益)は減収に伴う減益や修繕費の増加などがあったものの、高付加価値商品の拡販や収益改善などにより243百万円と同98百万円(68.5%)の増益となりました。

② 化成事業

化成事業におきましては、難燃水酸化マグネシウムの製造設備の増強により販売調整が解消されたことやセラミックス部門の伸長などから、売上高は3,704百万円と前年同四半期比180百万円(5.1%)の増収となりました。また、セグメント利益(営業利益)も減価償却費の増加などがあったものの、増収に伴う増益や原材料価格の低下などにより519百万円と同49百万円(10.5%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は20,062百万円となり、前事業年度末(以下前年度)に比べ450百万円増加いたしました。このうち、流動資産は10,111百万円と前年度に比べ201百万円増加いたしました。主な増加要因は、商品及び製品が191百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産は9,951百万円と前年度に比べ249百万円増加いたしました。主な増減要因は、投資その他の資産のその他に含まれる長期前払費用が302百万円、有形固定資産が31百万円増加、投資有価証券が88百万円減少したことによるものであります。

流動負債は8,903百万円と前年度に比べ617百万円増加いたしました。主な増減要因は、短期借入金が1,800百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が505百万円、電子記録債務が375百万円、支払手形及び買掛金が206百万円減少したことによるものであります。

固定負債は3,721百万円と前年度に比べ445百万円減少いたしました。主な減少要因は、長期借入金が448百万円減少したことによるものであります。

純資産は7,438百万円と前年度に比べ278百万円増加いたしました。主な増加要因は、利益剰余金が279百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年4月期の業績につきましては、2019年6月12日の決算発表時に公表いたしました数値から、変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2019年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,277	1,156
受取手形及び売掛金	3,788	3,691
電子記録債権	951	884
商品及び製品	2,206	2,398
仕掛品	606	687
原材料及び貯蔵品	923	976
その他	155	317
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	9,909	10,111
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,240	3,160
機械及び装置（純額）	3,160	3,257
土地	1,381	1,381
その他（純額）	679	692
有形固定資産合計	8,460	8,492
無形固定資産	41	37
投資その他の資産		
投資有価証券	418	330
繰延税金資産	706	710
その他	76	381
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,200	1,421
固定資産合計	9,702	9,951
資産合計	19,611	20,062

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2019年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,979	1,773
電子記録債務	1,492	1,116
短期借入金	1,300	3,100
1年内返済予定の長期借入金	1,656	1,150
未払法人税等	139	171
賞与引当金	305	293
製品保証引当金	112	101
設備関係支払手形	14	1
設備関係電子記録債務	115	192
その他	1,170	1,003
流動負債合計	8,285	8,903
固定負債		
長期借入金	2,106	1,658
退職給付引当金	1,763	1,802
その他	296	259
固定負債合計	4,166	3,721
負債合計	12,452	12,624
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	1,079	1,079
利益剰余金	4,720	4,999
自己株式	△30	△31
株主資本合計	7,089	7,368
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	43	35
評価・換算差額等合計	43	35
新株予約権	27	34
純資産合計	7,159	7,438
負債純資産合計	19,611	20,062

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年5月1日 至2018年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自2019年5月1日 至2019年10月31日)
売上高	11,103	10,674
売上原価	8,212	7,787
売上総利益	2,891	2,887
販売費及び一般管理費	2,556	2,387
営業利益	334	500
営業外収益		
受取配当金	10	9
破損損害金	4	6
その他	10	13
営業外収益合計	25	29
営業外費用		
支払利息	30	28
売上割引	14	12
その他	6	13
営業外費用合計	51	54
経常利益	309	474
特別利益		
投資有価証券売却益	—	44
特別利益合計	—	44
特別損失		
固定資産除却損	17	13
特別損失合計	17	13
税引前四半期純利益	291	505
法人税、住民税及び事業税	74	135
法人税等調整額	7	△0
法人税等合計	82	134
四半期純利益	209	370

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,579	3,523	11,103	—	11,103
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,579	3,523	11,103	—	11,103
セグメント利益	144	469	614	△279	334

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△279百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△279百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,969	3,704	10,674	—	10,674
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,969	3,704	10,674	—	10,674
セグメント利益	243	519	762	△262	500

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△262百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△262百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。